

登録コード	HM136800	開講年度	2026				
授業題目	スポーツ医科学特別研究				担当教員	増木 静江 他	
英文授業名	Research Thesis in Sports Medical Sciences				副担当	森川 真悠子	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【研究科共通_2024年度以前加付対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観				科学・技術を発展させるための健全な倫理観に基づき、研究を自ら立案し、実施できるようになる。		
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				運動トレーニング、環境適応過程における循環・体液調節機構に関する研究について、自ら仮説を立て、実験を実施できるようになる。		
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				実験により得られたデータを解析し、その本質を洞察し論理的に考察できるようになる。		
(2)詳細 /Detailed information	超高齢社会、地球温暖化の社会問題に際し、その打開策を社会に提供することがスポーツ医科学の役割である。人類が生来持っている遺伝形質を再活用してこの悪循環を断ち切るという立場から研究する方法と考え方を指導する。						
(3)授業の概要 /Overview of course	運動トレーニング、環境適応過程における循環・体液調節機構に関する研究指導、論文指導を行う。						
(4)授業計画 /Course plan	(増木静江) 運動開始時の昇圧応答、暑熱環境下運動時の循環・血液量調節機構とその生理的作用について研究指導、論文指導を行う。 (森川真悠子) 高齢社会、生活習慣病など社会問題解決のための運動トレーニングについて研究指導、論文指導を行う。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	博士論文研究について自ら主体的に推進している内容を評価する。 博士論文研究について実験を実施し、指示したデータ解析ができれば「可」, 得られた結果を論理的に考察できれば「良」, 従来の研究を踏まえ独創的な解析を行い考察できれば「優」, そこから新仮説を提唱できれば「秀」とする。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	毎回の授業の最後に、次の回につながる課題を出す。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	各担当教員が直接対応する。						
(8)授業の形式 /Course format	大学院生が実験実施、発表、討議を行う。						